

令和五年度 大学院人文科学府博士後期課程第二期入学試験問題  
(中国哲学史)

※解答は答案用紙を横(受験番号欄を右位置)にして、縦書きで記しなさい。

一、次の項目から五つを選び、知るところをそれぞれ三〜四行で記しなさい。

- ① 子思 ② 劉向 ③ 李翱 ④ 程頤 ⑤ 王良  
⑥ 春秋公羊伝 ⑦ 孔子家語 ⑧ 通書 ⑨ 周易本義 ⑩ 孟子字義疏証  
⑪ 正名論 ⑫ 災異説 ⑬ 四端 ⑭ 聖人可学説 ⑮ 致良知

二、次の中から一つを選び、知るところを具体的に論述しなさい。

- ① 漢代における今文学と古文学の対立について。  
② 朱子学と陽明学の「心」理解の異同について。

三、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。『春秋繁露』による)

天高其位而下其施、藏其形而見其光。高其位、所以為尊也。下其施、所以為仁也。藏其形、所以為神。見其光、所以為明。故位尊而施仁、藏神而見光者、天之行也。故為人王者、法天之行、是故内深藏、所以為神。外博觀、所以為明也。任羣賢、所以為受成。乃不自勞於事、所以為尊也。汎愛羣生、不以喜怒賞罰、所以為仁也。故為人王者、以無為為道、以不私為寶。立無為之位而乘備具之官、足不自動而相者導進、口不自言而擯者贊辭、心不自慮而羣臣效當。故莫見其為之而功成矣。此人主所以法天之行也。

四、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。『朱子文集』による)

動靜無端、陰陽無始、天道也。始於陽、成於陰、本於靜、流於動者、人道也。然陽復本於陰、靜復根於動、其動靜亦無端、其陰陽亦無始、則人蓋未始離乎天、而天亦未始離乎人也。元亨、誠之通、動也。利貞、誠之復、靜也。元者、動之端也、本乎靜。貞者、靜之質也、著乎動。一動一靜、循環無窮。而貞也者、萬物之所成終而成始者也。故人雖不能不動、而立人極者必主乎靜。惟主乎靜、則其著乎動也無不中節、而不失其本然之靜矣。靜者、性之所以立也。動者、命之所以行也。然其實則靜亦動之息爾。故一動一靜皆命之行、而行乎動靜者乃性之真也。故曰「天命之謂性。」